

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|--------------|-----|--------|--------------|
| ○事業所名 | 発達支援キャンパス | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 9月 9日 | | ～ | 2025年 10月 4日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 16人 | (回答者数) | 10人 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 9月 9日 | | ～ | 2025年 10月 4日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5人 | (回答者数) | 5人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 1月 13日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 当事業所では、毎回の療育後に保護者様とのフィードバックの時間を設け、丁寧な情報共有を行っています。この積み重ねが信頼関係を深め、家庭と連携した質の高い支援につながっていることが大きな強みです。 | 定期的なペアレントトレーニングは行っていますが、個別療育後のフィードバックを通じて、保護者様との信頼関係を築くことを大切にしています。また、保育園などでの様子についても保護者様から積極的に情報を共有していただき、支援に反映できるよう心がけています。 | 今後は、保護者様とのフィードバックの内容をさらに充実させるとともに、保育園・幼稚園・小学校など関係機関との連携を計画的に進めていきます。ご家庭や地域と連携しながら、より一層きめ細やかな支援が行える体制づくりを目指してまいります。 |
| 2 | お子様一人ひとりの課題や背景に応じて、市販教材の選定や手作り教材の製作を行っていることが当事業所の強みです。個性を大切にされた支援を心がけ、より効果的な療育につなげています。 | 個別療育・小集団療育に関するプログラムや実施後の振り返りは、職員間でデジタルツールを活用して情報共有を行い、支援の質の向上に努めています。 | 市販教材の活用方法や手作り教材の工夫について、個人の経験やノウハウに頼るだけでなく、チーム全体で共有できるよう、対面での情報共有会を設け、知識の蓄積と支援力のさらなる向上を図っていきます。 |
| 3 | 保護者様同士が安心してつながれる場をつくることは、当事業所が大切にしている取り組みのひとつです。今年度は茶話会を2回開催し、「同じ立場の方と話せて心が軽くなった」「情報交換ができて安心した」といった嬉しいお声を多数いただきました。こうした交流の場が、保護者様にとっての支えとなり、お子様へのより良い関わりにもつながると考えています。今後も、あたたかいつながりを育む機会を広げてまいります。 | 当事業所では、「キャンパス夏まつり」や「キャンパス茶話会」など、保護者様同士が自然に交流できるイベントを企画・実施しています。こうした取り組みを通じて、保護者様同士のつながりが生まれ、安心感や支え合いの輪が広がるよう、職員一同意識して取り組んでいます。 | 今後は、より多くの保護者様にご参加いただけるよう、交流の場の回数や内容を工夫し、参加しやすい雰囲気づくりにも力を入れていきます。保護者様同士のつながりが深まることで、子育てへの安心感や前向きな気持ちが育まれるよう、引き続き取り組みを充実させてまいります。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 当事業所では、利用者様お一人おひとりへの丁寧な対応を大切にしておりますが、事業所全体としての取り組みやお知らせなど、広く情報を発信する機会が少なく、十分に周知できていない面があると感じております。 | 現在は主に小集団療育の様子を中心に情報発信を行っておりますが、それ以外の当事業所ならではの取り組みや強みについては、まだ十分にお伝えできていない状況です。そのため、地域の皆様に当事業所の魅力や特色が伝わりにくくなっていると感じています。 | 今後は、発信する内容をより工夫し、これから療育施設を探される保護者様にとって有益でわかりやすい情報をお届けできるよう努めてまいります。事業所の取り組みや雰囲気が伝わるよう、発信の方法や内容を見直し、より多くの方に安心していただけるよう取り組んでいきます。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援カンバス

公表日：2026年 1月 13日

利用児童

数：16人

回収数：10人

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|---|----|---------------|-----|-------|--|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 10 | | | | ●清潔感があって、整理されており、子供がのびのび活動している。 ●お部屋はいつも清潔で広さも丁度いいかと思います。 | |
| 適切な 支援の 提供 | 5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 8 | 1 | | 1 | | |
| | 7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 9 | | | | 1 | |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 10 | | | | ●先生は子供のことをよく理解しており 子供に合わせた支援計画を作成し療育してくれています。 | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。 | 2 | 1 | 2 | 5 | | 当事業所は個別療育・小集団療育を行っており、保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流は今のところはありません。 |
| | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 10 | | | | ●児童発達支援プログラムの説明もきちんとしていただいた。 | |
| | 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 10 | | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 7 | 1 | 1 | 1 | | 当事業所はペアレント・トレーニング等を行っていませんが、毎回の療育後のフィードバックや個別支援計画のモニタリング等で、家庭での相談にも対応しています。 |

| | | | | | | | | |
|----------|----|--|----|---|--|---|---|--|
| 保護者への説明等 | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 10 | | | | ●療育後のフィードバックの時に その日の療育のお話を先生から聞 き、子供のことに対して相談があれ ば相談をしています。 | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われています か。 | 10 | | | | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同 士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている か。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだ い同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がさ れていますか。 | 7 | 2 | | 1 | ●保護者同士の交流する機会もあり すごく良かった | 当事業所は、キャンパス夏まつり、カ ンパス茶話会を実施しており、嗜好 評をいただいております。これから もこういう取り組みを継続し、さら なる保護者様の交流の機会を増やし ていけるように工夫します。 |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備さ れているとともに、こどもや保護者に対してそのような場がある ことについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ 適切に対応されていますか。 | 8 | 1 | | 1 | | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされ ていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護 者に対して発信されていますか。 | 9 | 1 | | | | 当事業所では、小集団療育の活動内 容について、定期的にInstagramで 発信しています。これからも、保護 者の皆さまにわかりやすく情報をお 届けできるよう、工夫していきま す。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 9 | 1 | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯 マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周 知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施され ていますか。 | 5 | 2 | | 3 | ●最初に災害時のお話し、怪我や事 故が発生した場合のお話をきちんと 説明していただきました | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練が行われていますか。 | 4 | 1 | | 5 | | |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知さ れる等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると 思いますか。 | 8 | 1 | | 1 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな 連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思 いますか。 | 6 | 1 | | 3 | | |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 10 | | | | ●時々アイアイヤとすることがあり ますが、行ってしまえば楽しく療育を 受けています。 | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 10 | | | | ●通う前より通ってから気持ちの切 り替えなど前より早く切り替えるこ とができるようになったりして通っ て良かったと思ってます。 | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 9 | 1 | | | ●事業所の支援には大変満足してい ます。 ●たくさん、相談にのっていただ き、その際親身になって対応して下 さり、感謝しかありません。 ●しっかりとした療育をしていただ いており満足しています。 | これからも、お子さまと保護者の皆 さまが「楽しい！また来たい！」と 思えるような環境づくりに取り組む とともに、楽しみながら成長につな がる療育の提供を継続していきま す。 |

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 発達支援キャンパス

公表日： 2026年 1月 13日

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|----------------------------|---|----|-----|--|-----------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | | ●個別療育の場合、なるべく課題に集中できるよう、ブースを区切り、机の高さや配置なども考慮しています。 プログラムに粗大運動のトレーニングを組みこんでいるお子さまには、可能な限り広いスペースを確保できるよう、調整しています。 | |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 5 | | ●保護者さま、お子さまが来所する前に使用する部屋、玄関、トイレなど確認し清潔さを保っている。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 5 | | ●保護者さま、お子さまが来所する前に使用する部屋、玄関、トイレなど確認し清潔さを保っている。 ●職員間の役割分担を行うことや、都度、連絡や相談ができることで受け入れのための良い環境が保てていると感じている。 | |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 5 | | | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 5 | | ●日々職員全員での振り返りの時間があり、その時に、情報共有や相談をしています。 ●毎日の昼の振り返りに加えて、定期的なミーティングも行い、職員全員で情報共有をしています。 | |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | | |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 5 | ●第三者評価は、計画的に実施したいと思う。 | |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 4 | 1 | ●職員同士が意見をしたり、質問ができる時間が設けられているため、共通の意識を持って業務ができていると感じている。また、研修を受ける時間があることでより高い知識での療育を提供できることをありがたく思っています。 | |
| 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 5 | | | | |

| | | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|---|--|--|
| 適切な支援の提供 | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 5 | | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 4 | 1 | ●日々のお子さまの様子をとらえ、保護者さまにもお話を伺った上で、今回のプログラム作成につなげています。個別支援計画も、職員間で相談しながら、一人一人のお子さまの具体的な支援内容について、時間をかけて作成しています。 | | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 5 | | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 4 | 1 | | | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5 | | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 5 | | | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | | ●支援計画や子どもの様子を共有することで、固定されたプログラムではなく広い視野や感覚で子どもの支援を安心して行える環境になっていると感じる。 | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 5 | | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | | | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 4 | 1 | ●毎回の療育ではお子さまの様子を確認し、次のプログラムにしっかり活かしています。 ●保護者の方からいただいたご意見も、すぐに反映できるよう心がけ、より良い支援につなげています。 | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | | | | |
| | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 5 | | | | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 5 | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|---|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 4 | 1 | | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 4 | 1 | | |
| | 28 | (28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 1 | 4 | | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | | | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ●当事業所は、個別療育と小集団療育を実施しております。保育所やこども園、幼稚園等との交流は、今のところ実施していません。保育園等での様子は、保護者様から情報共有しています。 ●小学校や、保育園や幼稚園の連携は、計画的に実施したい。 |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | | | |
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ●毎回の療育後、必ず保護者さまとのフィードバックの時間をとり、お話する時間をとても大切にしています。 ●保護者さまとのFBの時間で、園での様子を伺い情報共有している ●フィードバックを丁寧に行うことで家庭との連携ができることで子どもにとって良い支援に向かえるよう努めることができていると感じる。 | 保護者様との、定期的なペアトレはありませんが。個別療育後の、担当者と保護者様とのフィードバックは、保護者様支援に有効だと考えています。 |
| | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | | | |
| 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | | | | |
| 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 5 | | | | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|---|--|
| 保護者への説明等 | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | | | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 5 | | | <ul style="list-style-type: none"> ●保護者さま同士の交流の場を設けて、ご好評いただいているので、今後さらに機会を増やしていければと思います。 ●今年度は、保護者の方同士が交流できる機会として、茶話会を2回開催しました。その中で、意見や情報を交換し合うことができました。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 5 | | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | | | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | | | <ul style="list-style-type: none"> ●個人情報は鍵のかかる場所で保管している ●プライバシーを考慮したうえで、SNSに活動をアップしている。 |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 5 | | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 2 | 3 | | |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 5 | | | |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 5 | | | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 5 | | | |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | | | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ●食物アレルギー、身体拘束については、該当する機会がないため、「いいえ」と回答しています。 ●当事業所では、飲食物の提供やお菓子の対応は行っていないため、該当項目には「いいえ」と回答しています。 ●食事をとる機会がなく、いいえと回答 ●自事業所は、食事が無い事業者のため、食物アレルギー対応は、ないです。 ●アレルギーの確認、事業所内で食べ物を食べる機会がないため「いいえ」の回答にする。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 5 | | | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 5 | | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 5 | | | |

| | | | | | |
|----|--|---|---|---|--|
| 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 3 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ●実例がないためいいえと回答 ●虐待を防止では事業所内前例がないため「いいえ」の回答にする。 | <p>当事業所では、保護者様がそばで見守る環境の中、虐待や身体拘束の事例はこれまでにありません。今後も安心・安全な支援を継続するため、アレルギー対応や身体拘束に関する研修を実施し、職員間で共通認識を深めています。</p> |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 4 | 1 | | |